

県内景況情報

12月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

売上はほぼ前年比横這い状態。小麦の値上げがあり今後の利益縮小が懸念される。

〔野菜漬物製造業〕

県内における高菜原料の減少が影響していて、需要にこたえにくくなっている。

〈木材・木製品〉

〔家具製造業〕

人材確保が難しい。定年退職者を再雇用したり、定年を70歳にしたりするなど厳しい状況である。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

昨年夏の夏前より、落ち込み、伸び悩んでいたが、ここ2～3ヶ月で例年の平均まで回復してきた。年明けの1～2月を前年並みで乗り切ればというところ。全体では変わらず。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

前月と変わらず、仕事の引合いはあるが、人員が確保できず受注に応じられないケースあり。

〈電気機器業〉

〔電気機械器具製造業〕

12月度売上高は、先月より若干減少（前年同月比でも減少）。年度末に向け受注拡大を期待しているが、米・中の貿易摩擦の影響を懸念している。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており来月度以降の増産を期待している。

〈その他の製造業〉

〔砂利採取業〕

官公需の低迷が続いている。

● 非製造業

〈小売業〉

〔花・植木小売業〕

花卉業界は低迷しているが、12月は特に悪かった。市場でも切り花は2割近く売上を落とし、全体では1割近く落ちた。

〈卸売業〉

〔電気機器卸業〕

冬の天候により空調機の売上が左右される。

〈商店街〉

〔福岡市〕

外国人旅行者も多く、商店街は賑わっている。しかし、店主たちの話では消費意欲の低迷が続く、景気回復感もいまいちであるし、大幅な売上げ増にはつながっていないとの声が多い。

〈サービス業〉

〔リネンサプライ業〕

人手不足が続いている。

〔洗濯物取次業〕

クリーニング離れが続いている。需要が戻らないのが厳しい。

〈建設業〉

〔電気工事業〕

福岡都心部のマンション竣工が前月比90%。市内郊外東部の住宅建設（マンション・戸建て）は125%、西部が92%。

〈運輸業〉

〔倉庫業〕

荷の動きは活発である。全般的に倉庫需要は高く、不足している。

〔道路貨物運送業〕

売上は増加したが、燃料・人件費等の値上がりで収益状況は横這い。ドライバーの高齢化と人員不足が深刻化してきた。

福岡県の業種別D・I値の変化

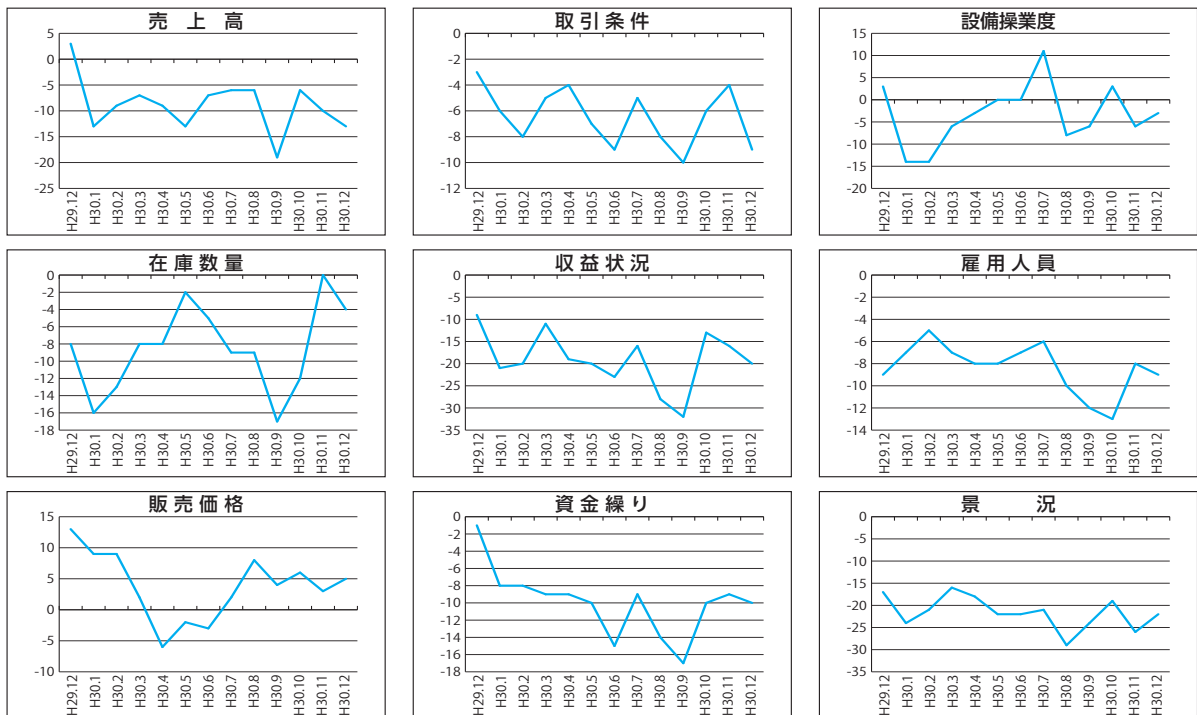
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	↑	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↓	→	↓	→	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-13	-4	5	-9	-20	-10	-3	-9	-22

↑ 増加・上昇・好転 ↑ 増加・上昇・好転の傾向 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化の傾向 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」「増加」したとする割合から「悪化」「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中3項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>